

## 今こそ受精卵移植！～乳用牛を借り腹とした和牛生産～

県立総合技術研究所畜産技術センター 育種繁殖研究部 福本豊 氏

### 〔ETレース販売額の推移〕

広島県では受精卵移植(ET)で生まれた和牛の子牛を専門に売買できる『ETレース』が毎月開催されています。この市場は「和牛が生まれても子牛市(9ヶ月齢)まで飼えんでえ！」という酪農家さんにとって、とても便利なシステムです。ETレースが平成21年に始まってから子牛の販売額は年々上昇傾向で、特に最近1年間は全国的な子牛不足によって子牛全体の価格が押し上げられ、かつてない売り手市場の状態です(図1)。そのため、発育と血統が良い子牛は30万円を超えることも珍しくありません。まさにタイトル通り、「今こそ受精卵移植!」「いつやるか?今でしょ!」といったところですね。

### 〔副収入増加で酪農経営に貢献〕

酪農家さんの副収入の一部にF1子牛の販売があります。F1は未経産牛の難産回避などにもよく使われますよね。それなら受精卵移植で高価な和牛を生ませてもいいと思いませんか?いくら最近の子牛価格が高くなったといっても和牛とF1との価格差は縮まりません(図1)。「じゃが、受精卵移植は経費が掛かりすぎるんじゃないんかのお?」という心配もありますよね。そこで、一例として人工授精と受精卵移植の必要経費や収益を比較してみました(図2)。確かに和牛生産は卵代などの経費が高く、人工授精に比べて受胎率が低いので生乳の損失額も増えてしまいます。でも、受精卵子牛の販売額はF1よりも10万円以上高くなるので最終的な収益は5万円ほど多くなります。もちろん生まれた和牛は十分な哺乳で1日増体量1kg以上を目指して大切に管理することが必要になりますが、受精卵移植で副収入を増やすには和牛子牛価格が高い「今」がチャンスなんです!

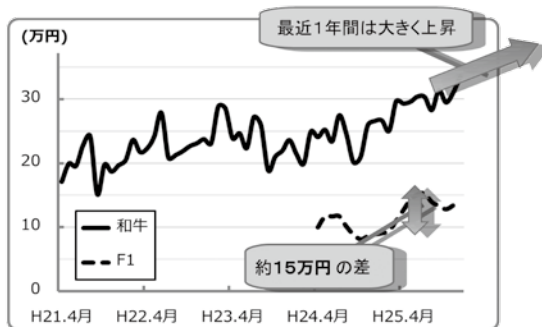


図1 和牛とF1の価格比較

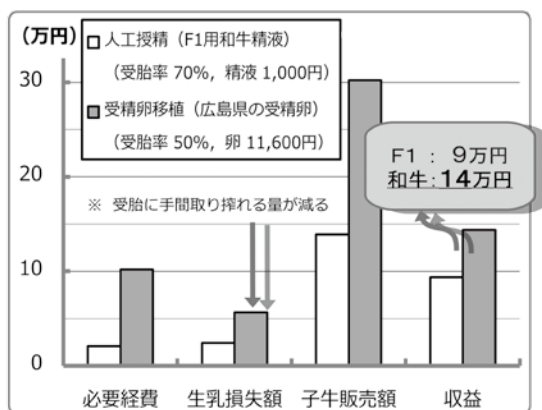


図2 F1生産と和牛生産の比較

3/4  
(火)

## 畜産技術センター「研究成果発表会」

- 1 日時：平成26年3月4日(火) 13:00～16:00
- 2 場所：県立広島大学 庄原キャンパス 大講義室  
(庄原市七塚町562 ☎0824-74-1000)
- 3 テーマ：広島県産和牛の新たな展開に向けて
- 4 内容：(1)基調講演(13:10～13:30) (2)研究成果発表(13:30～14:20)  
(3)特別講演(14:20～15:00) (4)総合討論(15:00～16:00)  
(5)ポスター発表(15:30～16:00)
- 5 問合せ先：広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 技術支援部  
〒727-0023 庄原市七塚町584 ☎0824-74-0332  
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/31/>

